



練馬東中学校

学校だより

教育目標 ○心豊かな人 ○健康な人 ○考える人 ○共に生きる人



令和7年度 9月号

将来、生徒たちが社会で活躍し、快適に暮らすためには…。

校長 岩本 眞由美

今年の全国高等学校野球選手権大会での優勝校である沖縄尚学の比嘉監督の記事です。(東京新聞 8月24日 一部抜粋)

指導者として駆け出しだった20代と違い、近年は選手の主体性を重んじる。きっかけは一つのアンケート。企業が主体性のある学生を求めていることを知った。5年ほど前から練習メニューを選手に考えさせている。「自分に返ってくる意識があるのか、取り組む姿勢が良くなった。」と語る。

教育者の一人として「やりたいことだけをやるのは違う」とも。

現在の生徒たちにとってこの「考える」ことは、必要不可欠とされています。そのために授業ではもちろんですが、様々な場面において生徒に「考えさせる」場面を設定し、工夫の努力をしています。では、なぜ「考える」ことが重要視されているのでしょうか。

生徒たちが社会で活躍する頃には、少子高齢化やAI技術の進歩などにより、社会の構造そのものが大きく変化することが予想されています。その社会で生き抜くためには、自分の置かれた状況の課題を考え・判断し、知識や技術を活用して文章や口頭で表現し、課題解決に向けて行動する力が求められています。

そこで、生徒たち自身が、将来どんな社会になっているのかを理解しておく必要があります。そして、その社会で充実した生活を送るために必要なものは何か。また、今、どんなことを意識して生活や学習をするべきかを考えてほしいと思っています。始業式で、文部科学省が作成した『動画でわかる Society5.0』を全校生徒で見て、自分の将来について考える機会をもちました。

また、経済産業省が3年前「未来人材ビジョン」を公表し、社会で働くために必要な能力などを示しました。企業は今までは、真面目にコツコツと働ける人材を求めていましたが、2050年に求めている力は「問題発見力」です。問題を解決するのではなく、そもそも何が問題なのかを見極める力が求められそうです。

令和7年度の全国学力・学習状況調査の結果が7月14日に公表されました。

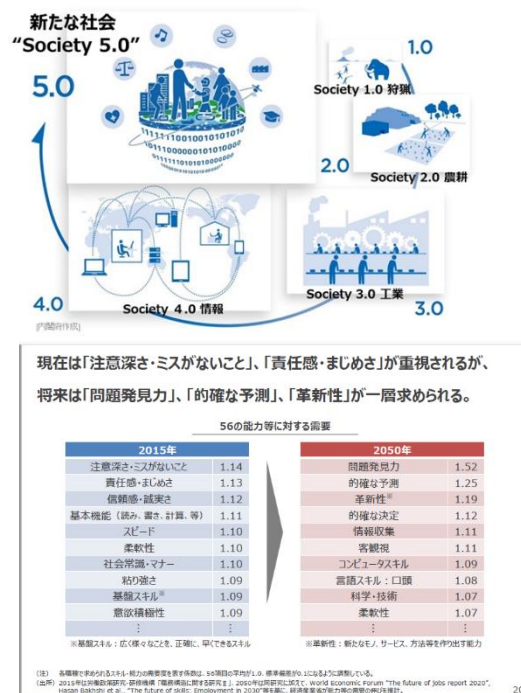
国語の例をあげてみると、『伝えたい事柄とその根拠を適切に結びつけながら、自分の考えが伝わる文章になるように書くことなどに課題がある』という結果がでています。英語は今回はありませんでしたが、令和5年度では、英語の能力に加え、世の中の問題や社会常識に普段から接していなければ解答はなかなか出てこないと課題があがりました。

対策としては常日頃から自分の考えをまとめておくことが重要です。そのために是非、新聞を活用しましょう。新聞は自分の興味・関心以外の事でも紙をめくっていくことで、出来事を示してくれます。

ここで、令和7年度全国学力・学習状況調査である生徒質問調査の1つの項目の本校結果を示します。

・新聞を読んでいますか ほぼ毎日読んでいる 0% 週に1～3回読んでいる 8.8%

本校では毎日教室に新聞が配布されています。活用しないのはもったいないと思いませんか。

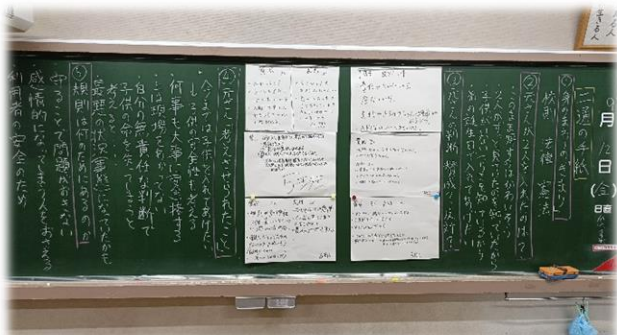


イングリッシュ・キャンプ

1年生は、夏休みに2泊3日のイングリッシュ・キャンプで軽井沢を訪れました。自然に囲まれた環境の中、ネイティブの先生方と英語でやり取りをしながら、日常では体験できないようなアクティビティに挑戦しました。最初は緊張していた生徒たちも、次第に英語でのコミュニケーションに慣れ、積極的に参加する姿が見られました。楽しみながら英語に親しむことができ、学びの多い3日間となりました。



道徳授業地区公開講座



9月11日(木)、道徳授業地区公開講座を実施しました。生徒たちは真剣に授業に取り組み、日頃の学習の成果をしっかりと発揮することができました。同じ題材を扱っていても、それぞれの学級に合った雰囲気での授業が進み、大変有意義な時間でした。

平日でしたが、お越しいただいた保護者の方、ご参観くださいまして、ありがとうございました。

生徒会役員選挙



9月12日(金)6校時に、生徒会役員選挙を実施しました。これからの学校をリードしていく大切な存在を選ぶ機会として、立候補者たちは自分の思いをしっかりと伝えていました。選挙を通じて、全校生徒が学校づくりに関わる意識を高め、これからも互いに協力して頑張っていってほしいと思います。



新入生学校説明会

9月13日(土)、新入生学校説明会を開催しました。来年度、本校への入学を考えている方々にご来校いただき、学校生活や教育方針、各種行事について説明を行いました。多くの方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。

